

くにみ 議会だより

KUNIMI

令和6年
(2024年)

No.203

6月議会号

議会だよりは
議会ホームページからも
ご覧になれます



工場の環境を整える大型FRPルーファン製造 株式会社 カシノ工業

2010年8月より国見へ移住し、夫婦で始めた事業。今は家族4人が要となり、力強い職人気質の工場長と従業員さんとで、製品造りに日々奮闘している。社長業は妻の祥子さん、工場長は夫の春美さんが務め、ベストなチームワークで益々の発展が楽しみです。

※関連インタビュー記事 P18へ

6月定例会

(令和6年6月13日から令和6年6月17日)

教育長人事案件「くにみ学園構想
凍結の責任は大きい」

P2

議員7名による一般質問 P6

町民のみなさまからこんな意見をいただきました! P14

私もひと言 P18

教育長人事議案不同意

くにみ学園構想凍結の責任は大きい

令和6年6月第3回国見町議会定例会(第3日目・6月17日)において、教育長再任の人事案を賛成2、反対8の賛成少数で不同意としました。

質疑

問 (小林聖治議員) 凍結に対し、教育長は結果責任、道義的責任はとったのか、あるいはなにもとっていないのか。

引地町長 政治責任については、選挙で結果が出るものだと思います。道義的責任については、第三者委員会の結論が出たのちに然るべき判断をする。

問 (佐藤 孝議員) くにみ学園構

想凍結という混乱を招いた責任は大きいと思うが、教育長の再任を強く提案するのはなぜか。

引地町長 今、国をあげて福祉と教育の両面から



反対討論

(松浦常雄議員)

くにみ学園構想は、町の教育の実情を無視したワンテーパー前社長の野心による唐突な提案であり、町の総合計画には無かったことである。その提案を受け入

子ども・子育ての議論がされている。菊地さんは職員時代に、福祉・まちづくり、ひとづくり行政に長く携わっており適任だと思料した。

問 (佐藤 孝議員) 教育行政に精通した方がたくさんいる。改めて考えなおしては。

れ、構想策定を推進したことは問題である。さらに、予算の概要と財源を示さなかったことは大きな疑問であり、町民の不信を招いた。教育長の責任は極めて大きいと考える。

(山崎健吉議員)

くにみ学園構想も救急車同様ワンテーパーが深く関わっていた。特別委員会の対象に当てはまるものだったが、凍結したことで責任の所在が曖昧となっている。そのことに対して未だ町民へ謝罪も責任も取って

賛成討論

いないことから、教育長の再任に反対する。

(佐藤多真恵議員)

菊地教育長の実績もある。くにみ学園構想に夢を抱いた人がいることも事実。今までやってきたことをゼロにして、(教育長が)不在になるのは困る。

結果	佐藤多真恵	菊地 勝芳	佐藤 孝	蒲倉 孝	八巻喜治郎	穴戸 武志	山崎 健吉	小林 聖治	渡辺 勝弘	松浦 常雄
賛否	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●

賛成：○ 反対：●
※議長は採決に加わりません。可否同数の場合のみ裁決権を行使します。

6 月 定 例 会 議 決 の 結 果

議案番号	件 名	備 考	結 果
報告第 3 号	繰越明許費の報告について	人事給与システム改修事業ほか 計34件事業、翌年度繰越額 4 億2,228万円	報告
報告第 4 号	事故繰越しの報告について	議会特別委員会顧問弁護士費用ほか 計 3 事業、翌年度繰越額52万2,915円	報告
報告第 5 号	町が出資している法人の経営状況について	福島地方土地開発公社の令和 5 年度決算に関する書類及び令和 6 年度事業計画と予算等の状況を報告するもの。	報告
報告第 6 号	町が出資している法人の経営状況について	国見まちづくり株式会社の令和 5 年度決算に関する書類及び令和 6 年度事業計画と予算等の状況を報告するもの。	報告
承認第 1 号	専決処分の承認を求めることについて	地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	承認
議案第39号	国見町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	会計年度任用職員のフルタイム化に伴い、県条例に準拠し、抜本的な改正を行うもの。	原案可決
議案第40号	国見町職員の懲戒の方法及び効果に関する条例等の一部を改正する条例	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正に伴い、引用及び文言を改正するもの。	原案可決
議案第41号	国見町職員の分限の方法及び効果に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の規定に基づき、退職の事由について新たに明記するもの及び文言の整理を行うもの。	原案可決
議案第42号	国見町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の規定に基づき、県条例に準拠し、文言の整理を行うもの。	原案可決
議案第43号	国見町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	県条例に準拠し、文言等の整理を行うもの。	原案可決
議案第44号	国見町職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	国見町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、引用及び文言を改正するもの。	原案可決
議案第45号	東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税、国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	<ul style="list-style-type: none"> 福島第一原発事故に伴う避難者の国保税及び介護保険料について、減免の措置を令和 6 年度課税分まで延長するもの。 国民健康保険税及び介護保険料の減免項目を追加するもの。 	原案可決
議案第46号	国見町乳幼児の育成支援に関する条例の一部を改正する条例	国見町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の廃止及び新設に伴い、引用及び文言を改正するもの。	原案可決
議案第47号	国見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険法施行令の一部改正による課税限度額、後期高齢者支援金等賦課額に係る賦課限度額の引き上げを行うもの。 低所得者に対する、被保険者均等割額及び世帯別平等割額を軽減する所得判定基準の引き上げを行うもの。 	原案可決
議案第48号	国見町県営土地改良事業による分担金の徴収に関する条例の一部を改正する条例	債権管理条例の改正に伴い、準用する条例について改正を行うもの。	原案可決
議案第49号	国見町道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例	「道路の区分」及び「自動車通行帯」について明記し、あわせて引用及び文言の整理を行うもの。	原案可決
議案第50号	国見町営住宅条例の一部を改正する条例	町営住宅の管理戸数の変更によるもの。	原案可決
議案第51号	国見町下水道条例の一部を改正する条例	債権管理条例の改正に伴い、準用する条例について改正を行うもの。	原案可決
議案第52号	国見町体育施設条例の一部を改正する条例	観月台体育館の除却によるもの。	原案可決
議案第53号	町道路線の認定及び廃止について	道路法第 8 条第 2 項及び第10条第 1 項の規定により町道路線の認定及び廃止するもの。	原案可決
議案第54号	工事請負契約の締結について	契約目的: 令和 6 年度地方創生整備推進交付金事業 町道 4 号線舗装改良工事 契約金額: 1 億175万円	原案可決
議案第55号	工事請負契約の締結について	契約の目的: 令和 6 年度国土交通省道路局所管道路メンテナンス補助事業 徳江大橋補修工事 契約金額: 1 億9,932万円	原案可決
議案第56号	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、現行の被保険者証は発行されなくなるため、所要の改正を行うもの。	原案可決
議案第57号	令和 6 年度国見町一般会計補正予算 (第 1 号)	令和 6 年度一般会計補正予算(第 1 号)は、歳入歳出それぞれ 1 億8,630万円を増額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ62億8,630万円とするもの。主な増額は、定額減税調整給付金、書かない窓口システム構築事業、岩淵遺跡補修工事、町合併70周年・観月台文化センター 30周年記念芸術鑑賞事業等によるもの。	原案可決
議案第58号	令和 6 年度国見町国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	国見町国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)は、国民健康保険税等について補正を行うもの。	原案可決
議案第59号	令和 6 年度国見町水道事業会計補正予算(第 1 号)	国見町水道事業会計補正予算(第 1 号)は、デジタル田園都市国家構想交付金事業について補正を行うもの。	原案可決

補正予算の 主な質疑

コミュニティ助成 事業の助成実績

問

(松浦常雄議員)

コミュニティ助成

事業とはどういうものか。

**大勝企画
調整課長**

宝くじの助成
金を原資とし

た、地域コミュニティを図る任意団体に対して補助金を出すというもの。実績としては、お祭りやイベント用具の購入に対して助成をしている。

書かない窓口シス テムで便利に

問

(蒲倉 孝議員)

書かない窓口シス

テムとは何か。

**佐藤ほけん
課長**

マイナン
バーカードや

運転免許証などで本人を特

定するシステム。カード等を機械に通し、申請書に基
本情報が入字されることで、
申請書記入の利便性を図る
ことを目的に導入するもの。

周年事業の早急な 組織化へ

問

(蒲倉 孝議員)

町合併70周年、観

月台文化センター30周年記
念に係る芸術鑑賞委託料と
して550万円増という金
額が計上されているが詳細
は。

**小野生涯
学習課長**

町の応援大使
などを呼びたい

と考えている。演者との調
整が必要のため、開催時期
は未定。

問

(小林聖治議員)

雑入で入場料収入

400万とあるが、積算根
拠は。

**小野生涯
学習課長**

入場料金50
00円を400

席販売し、1日2公演で計
算している。

問

(蒲倉 孝議員)

周年式典前に観月
台の補修は完了するのか。

**小野生涯
学習課長** 記念事業は年
間を通して実施

する。その合間で部分的に
改修工事をするため、全て
終了するという形にはなら
ない。

問

(佐藤 孝議員)

周年事業について、
議論の経過を節目節目には
出すことを約束してほしい。

**引地
町長** 70周年記念式典事
業の組織化が遅れて

いる。早急に組織化を図り、
周知することとしたい。

給付以外の形で 暮らしやすい町に

問

(渡辺勝弘議員)

物価高騰で苦しん
でいるのは非課税世帯だけ
ではない。金額が少なくても
も全世帯に出すべきではな
いかと思うが、町の考えを
伺う。

令和6年度一般会計 補正予算(第1号)の主な内容

【主な事業】

- 定額減税調整給付金事業 7,192万円
- 住民税非課税化世帯等に対する特別給付金事業 3,137万円
- 水道事業会計繰出金 3,308万円
- 書かない窓口システム構築事業 960万円
- 児童手当システム改修事業 735万円
- 岩淵遺跡補修工事 761万円
- 観月台文化センター点字ブロック設置等整備工事 660万円
- 町合併70周年・観月台文化センター30周年記念芸術鑑賞事業 550万円
- その他 1,328万円

【主な財源】

- 国県支出金 1億4,621万円
- 地方債 1,030万円
- その他 640万円
- 一般財源 2,339万円

**引地
町長**

今回の補正計上の
根幹には定額減税が
ある。額は少なくとも全町
民へのことだが財源の問

題がある。給付だけではな
く暮らしやすく、安全安心
な町をつくるためのまちづ
くりを考えていきたい。

議案第55号の 質疑

片側交互通行で徳江 大橋の修理を進める

問

(山崎健吉議員)

徳江大橋の修理に
は、1年間で終了する見込

**村上建設
課長** 今年と来年で
補修したいと考
えている。橋の通行止めに
よる影響は大きい。片側交
互通行で工事を進めたいと
考えている。

**みか。また、通行の支障に
ついてどう考えているか。**

みなさんからの 請願・陳情

6月定例会では請願1件、陳情3件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

請 願	提 出 者	結 果
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願について	日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	採択
陳 情	提 出 者	結 果
国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての陳情	新日本婦人の会 伊達支部 支部長 大橋 イツ子	採択
県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての陳情	新日本婦人の会 伊達支部 支部長 大橋 イツ子	採択
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子	採択



意見書

6月定例会では意見書4件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書	地方自治体に対するニーズ、防災・減災、社会保障など多岐にわたる役割が求められる中、令和7年度の政府予算、地方財政の検討にあたり、今までより積極的な財源確保により地方財政の確立を求めるため。	可決
国に対し学校給食費無償化を実施することを求める意見書	国に対し学校給食費無償化の実施を求めるため。	可決
県に対し学校給食費無償化を実施することを求める意見書	国に学校給食費無償化を促すため、県に対し学校給食費無償化の実施を求めるため。	可決
「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学支援が保障されるよう、令和6年度においても全額国費による「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と十分な就学支援に必要な予算確保を国へ要望するため。	可決

～7人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

6月定例会

議員	質問事項	ページ
まつうら 松浦 常雄	通学路の安全確保について	7
	牛沢川の改修について	
	町の少子化、及び、人口減少対策について	
ししど 宍戸 武志	当町におけるコンプライアンス研修について	8
	当町での介護保険の給付金の支払い方法について	
やまざき 山崎 健吉	役場の公用車の管理及び使用状況について	9
わたなべ 渡辺 勝弘	「ももたんスポーツクラブ」の今後の展望について	10
かばくら 蒲倉 孝	イオンモール北福島（仮称）について	11
まきち 菊地 勝芳	国見町における有害鳥獣等の侵入防止柵について	12
	「くにみ学園」構想の再開について	
さとうた 佐藤多真恵	子育て支援及び学習環境の整備について	13
	選挙時の投票への配慮について	
	国見町森林整備計画（令和5年度変更）について	
	国見町ホームページの更新について	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

Q 通学路の安全点検と対策は

A 点検の結果を基に協議を重ね、安全を確保する

現在の通学路の安全点検は

問 通学路の安全点検は、いつ行ったのか。

中條教育施設課長 昨年11月に警察、交通安全協会、学校長、建設課、住民防災課等の立会いの下、協議が必要な7力所の合同点

検を実施した。

問 危険箇所はどのくらいあったのか。

中條教育施設課長 約40箇所あったが、

町で対応できるところは対応し、町だけでは対応が難しいところは、合同点検において、関係機関と協議を進めてきた。

問 県道五十沢国見線のめがね橋

近くの歩道未整備区間の整備について、これまで何度も早急な整備を要望してきた。現在の見通しはどうか。

村上建設課長 地形測量は済んでお

り、今年度は、県道沿いの用地所有者等の調査を行う予定となっている。また、県に対し、4月15日に早期の歩道設置を要望している。

牛沢川の改修状況は

問 牛沢川の大木戸安養寺からめ

がね橋の区間は、川岸が浸食され、土砂崩れ



合同現地視察の様子

や倒木が多く、住民は、不安を抱いている。川岸の用水路も危険な状態である。昨年8月に、県北建設事務所を始め、建設課、地元関係者で合同現地視察を行った。改修が必要であることが確認されたが今後の見通しを伺う。

村上建設課長 昨年の現地調査を踏

まえ、竹林や樹木の伐採、川岸の補強工事を

問 去る4月の新聞報道によれば、国見町は、20代から30代の女性の減少率の推計が68・5%で、県内33市町村のうち上から9番目であった。これをどう受け止めているのか。

令和5年11月に実施した。河川の特徴を踏まえ、調査をしていくと聞いている。町としても県の土木部長、県北建設事務所長に早期の河川改修を要望した。

大勝企画調整課長 若者の転出や出生数の低下など、現状に警鐘を鳴らしているものと受け止めている。

問 20代〜30代の女性が町内に定住する対策は。

佐藤産業振興課長 女性に限らず男性も含めて、自分らしく安心して働き、生活できる環境整備をすることで、住みやすい、暮らしやすい町づくりに取り組むことが定住化につながるものと考えている。

昨年11月、警察、交通安全協会、学校長、建設課、住民防災課等の立会いの下、協議が必要な7力所の合同点検を実施した。

約40箇所あったが、町で対応できるところは対応し、町だけでは対応が難しいところは、合同点検において、関係機関と協議を進めてきた。

Q コンプライアンス研修は定期的に実施されているのか

A 庁内独自の研修は実施していないが、階層ごとに基礎研修を実施している



議員 志武 たくし 戸 川

コンプライアンス研修の必要性

問 当町におけるコンプライアンスに対する取り組み全体について伺う。

澁谷総務課長 公務員として採用された職員は「宣誓」を

する。その後、各研修時に行われている。

問 庁内で独自のコンプライアンス研修は定期的に行われているか伺う。

澁谷総務課長 庁内単独で行っていない。

約半数100名が会計年度職員である。会計年度職員への個人情報保護法を含むコンプライアンス研修はどうなっているのか伺う。

澁谷総務課長 採用時にアンスや守秘義務について説明している。今後、先進自治体を参考にどのようなに進めたら良いか検討をする。

問 毎年、階層毎に基本的なコンプライアンス研修は最低限必要ではないか。又、個人情報保護法の研修も必要ではないか伺う。

澁谷総務課長 現在行われている。また、外部機関による研修に含まれている。また、日々の業務の中で法令を学んでおり、経験を重ねている。日々の業務を通じ基本的な法令の仕組みを学んでいる。完璧な姿を目指している。

問 当町の職員構成は、全職員の

問 公務員は、一層のコンプライアンスの徹底が求められる。原点に立ち返りコンプライアンスの研修を徹底してはどうか見解を伺う。

澁谷総務課長 コンプライアンス研

修については、昨今の職場環境の変化やツールの多様化などにより、時代にあった研修を検討していく。

問 介護保険給付金の支払い方法は

当町では、住宅改修や福祉用具購入に介護保険サービスを利用した場合、「受領委任払い」は導入済か確認する。

問 介護保険サービスを利用した住宅改修・福祉用具購入の「償還払い」・「受領委任払い」の件数と金額を伺う。

澁谷総務課長 令和5年9月より「受領委任払い」も導入している。

問 介護保険サービスを利用した住宅改修・福祉用具購入の「償還払い」・「受領委任払い」の件数と金額を伺う。

佐藤副町長 「受領委任払い」を導入した令和5年9月以降の実績は、「償還払い」が、住宅改修で4件(50万3291円)・福祉用具購入6件(37万1443円)一方で、「受領委任払い」は、住宅改修で13件(97万6900円)・福祉用具購入30件(95万1660円)です。住宅改修で約7割強・福祉用具購入約8割で「受領委任払い」となっている。



住宅改修

Q 公用車の管理及び使用状況は

A 運転者には、注意喚起等の指導を行い適正に管理・使用している

問

現在の公用車の保有台数と、リース台数及び燃料別は。

澁谷総務課長

保有台数は35台で内リース車は6台、また燃料別では、水素1台、電気1台、プラグイン1台、ハイブリット3台、他ガソリン車で運用している。

問

脱炭素社会に向けて、福島市では今後、導入する公用車は、電気自動車か、ハイブリット車に移行するとしているが、町の公用車は、どの様に検討しているのか。

澁谷総務課長

現在、ハイブリット車等を、徐々に導入している。また職員から、

問

職員の安全教育はどのように行っているのか。また任意保険の加入状況は。

澁谷総務課長

公用車を運転する場合は、鍵の管理場所にアルコールチェックを行う機器を、庁舎に2台、観月台にも同様の機器を設置し実施している。出先機関については、庁舎で実施している。また任意保険については、全国町村会の保険に全車加入している。



働く公用車

澁谷総務課長

澁谷総務課長

現在、ハイブリット車等を、徐々に導入している。また職員から、

問

各課の管理状況はどの様に行っているのか。また各課で管理するメリットは。

澁谷総務課長

総務課以外では14台

が所管課で管理している。比較的用途がはっきりしている車両で、直ちに外出や出勤することが必要な場合に、使用中で使えないというものがなく、すぐ使えるのがメリットである。

問

公用車の更新期間は、規則によると初年度から15年以上経過、または走行距離が15万kmを超える」と記載されているが変わりはあるか。桑折町では今年度から、20年以上を経過してから更新し、将来的には公用車はリースに変更する

澁谷総務課長

当町の公用車の更新

時期は、その通りだが、使用状況によっては、老朽化が激しく修理費がかさむこともある。また年数と距離に関係なく長持ちしている車もある。更新時期等については、今後十分に検討する。

問

町内の修理工場はどのような基準で依頼しているのか。また購入についてはどのような手順で行っているのか。

澁谷総務課長

車検や修理について

は全ての修理工場においてお願いしている。購入についても町内の全事業者に声をかけ見積りにより決定している。



やまぎけんきち
山崎健吉議員

Q ももたんスポーツクラブの位置づけは

A 地域住民主体の「みんなでスポーツ 元気な町づくり」をめざす



わたなべかつひろ
渡辺勝弘議員

スポーツに親しむため、地域住民主体のクラブとして「みんなでスポーツ 元気な町づくり」を目指し、立ち上げた。

スポーツに対するニーズの変化などが課題とされ、平成30年頃から検討を重ね令和3年に検討委員会を立ち上げた。

らず、健康づくりとして参加する機会を創るために設けたもので、住民がニーズに応じて選択する。

を設立し、休日の部活動の地域移行に向けた取り組みがスタートした。軌道に乗った後にスポーツクラブが受け皿として機能するよう支援していく。

ももたんスポーツクラブとは

問 町にはスポーツ組織として体育協会があるが、あえて別組織をつくり総合型地域スポーツクラブを設立したのはなぜか。

小野生涯学習課長 平成12年たスポーツ振興基本計画により、総合型地域スポーツクラブを各市町村に一つ以上設置することが目標とされた。ニーズの多様なことを受け、地域住民が「いつでも・だれでも・どこでもいつまでも」

問 総合型地域スポーツクラブ設立にあたって、全国的に動きがあったが、他の地域より遅れた理由は。

菊地教育長 国の方針が全国一律で、地域の実情に配慮されていないという課題が指摘されていた。町では、体育協会の会員数や単位クラブあたりの人数の減少、ス

問 各クラブの年会費に加え、高額な会費を支払い新たなスポーツに取り組みには、保護者負担が増加することになるがどう考えているのか。

小野生涯学習課長 地域住民主体の自主運営を基本とし、地域住民がスポーツを楽しむため、会費を負担してクラブを運営していくもの。

問 子どもたちにアンケート調査を行い、ニーズに合わせて多種多様なスポーツを体験できる環境を整える必要があるのではないかと。

小野生涯学習課長 15歳以上の町民と小学4年生から中学3年生にアンケート調査を実施した。その調査を基に設立準備委員会で協議し、活動内容に採用している。今後もニーズにあわせて活動内容を協議する。

問 本年度の定期活動内容に「元気に百歳体操」があるが、新たな徴収による高齢者の負担をどのように考えているのか。

小野生涯学習課長 地域や年齢にかかわ

問 中学校部活動の地域移行はどのようになっているのか。

小野生涯学習課長 令和6年4月に国見町コミュニティクラブ

問 スポーツ振興くじ助成事業であることから、急いで総合型地域スポーツを設立しようと思える。資金も5年間と限定されるが将来の資金不足をどう補い、地域スポーツを支えていくのか。

小野生涯学習課長 令和9年度までスポーツ振興くじ助成金を活用し、その後、県のスポーツ振興基金助成金を活用する。町は、自主運営できるよう支援する。

Q イオンモールからの地域貢献策を 近隣7市町村へ提案は

A 令和5年7月に前向きな提案があった が、最終的にはオープン時にならない と確定しない

イオンモール北福
島(仮称)について

問

令和3年3月
議定会例会一般
質問にても質問してい
るが、令和5年10月5
日に福島市説明会、10

月6日に伊達市説明会

に参加し、地域貢献策
について質問した際、

この時点では、「まだ
各自自治体と話していな

いない。今後、打ち合
わせでウイン・ウイン

な関係になるように進

めていく」とのこと

だったが、進展があっ
たか何う。

佐藤産業
振興課長 イオンモ
ール開業に

伴う地域貢献策につい
ては、福島県商業まち

づくりの推進に関する
条例に基づき、事業主

体となるイオンモール
株式会社が実施するも

のだが、具体的な進展
等はまだない。ただし、

ウイン・ウインな関係
になるように進めてい

く点については、変わ
りはない。



イメージ図

商工会会員のアンケ ート調査について

問

国見町のコー
ナーを設置し
て、パンフレットや道
案内等の場所を設置し
てほしい。

また、「国見町特産
物販売、商品紹介等の
ブースが欲しい」など

の要望があったが、イ
オンモールへは、要望
したか何う。

佐藤産業
振興課長 アンケー
ト結果によ

って出された意見要望
をもとに、福島市、伊
達市、相馬市、川俣町、

桑折町、飯館村、そし
て、国見町の3市3町

1村で組織した。地域
貢献策検討会議で検討

を進め、令和3年12月
に伊達市長名で、イオ

ンモール株式会社によ
望書を提出している。

要望事項は3点。1
点目は地元産品の積極

的な活用、販売協力、
2点目はイベントスぺ

ースの活用、3点目は
地域周遊の仕組みづく

りの協力、この3点に
ついて要望した。

新設届出の意見 提出について

町民の方々か
ら、「伊達市は

要望を出しているが、
国見町は何もしてない

のではないかとの声
が聞こえて来るが、伊

達市長名で代表し要望

している事がわかっ
た。

令和3年10月20日、
議員懇談会終了後の説

明会では、新設届出の
内容について、現時点

において国見町として
の意見は特になしで提

出の予定だったが、そ
の後、そのまま提出し

たのか何う。

佐藤産業
振興課長 令和3年
11月に福島

県知事へ意見書として
2点提出した。

1点目は、地域貢献
策を積極的に取り組む

ことで、近隣市町村へ
の波及効果を生み出す

ことから、近隣市町村
が提案する地域貢献策

の実現に努めること。

2点目は、慢性的な
交通渋滞が通勤時等で

発生することにより、
町民に支障を及ぼさな

いよう、対策に万全を
期すこと、以上の2点
を提出している。



かばくら たかし
蒲倉 孝議員

Q 有害鳥獣等の侵入防止柵の管理・補修に対する対応は

A 管理・補修は各町内会の協力をお願いしている



きくち かつよし
菊地勝芳議員

シユ柵などの資材を無償で現物給付し、交換取り付けは地区または町内会で行っている。

問 侵入防止柵の管理・補修は誰が行っているのか。

周辺町内会で実施を行っている。

佐藤産業 振興課長

問 町で修理費等の実費補助はしているのか。

佐藤産業 振興課長

平成27年度から平成30年度までの4年間にわたり、小坂・山崎・石母田・大木戸・大枝地区まで26・7kmにわたって設置、その後の管理・補修についても

侵入防止柵の補修については、地区や町内会からの要望に基づき、都度ワイヤーメツ

問 管理・補修、維持管理には人員の拡充が必要だと考える。それに対する所見は。

佐藤産業 振興課長

中山間地 域直接支払い交付金制度、多面的機能支払い交付金制度などを新たに活用し、労賃を支払うことが考えられる。

問 モンスタールフの効果検証はしているのか。

はしている。

佐藤産業 振興課長

現在4台導入している。製品の性能上、捕獲目的ではなく、音や光で獣を寄せ付けないものであり、効果及び有効性は高いものと考えている。欠点としては、音を最大限にした場合の騒音問題、音を下げた場合には、獣が近寄りやすくなることの2点があげられる。

問 小坂峠から阿津賀志山にかけて通っている道路を整備しオフロードコースとして活用し、音による獣除けを検討してはどうか。

村上建設 課長

オフロードについては、落石・倒木等の危険とあわせて、他の通行者との衝突などあらゆる危険性があるというところ、また、効果についても定期的に行っている状況ではない



モンスタールフ

ため、効果は見込めないと考えている。

問 凍結しているくみに学園構想の動きは

凍結している

について、進展はないのか、あるいは新たな発想で計画を進める考えはあるか。

町長 小中学校で保護者説明会、幼

保小中の保護者会やPTA役員との座談会を開催した。いただいた意見を教育ビジョンに反映し、施設の統廃合や複合化、認定こども園や義務教育学校などを検討する。町や議会、子ども、保護者の意見をしっかりと伺い検討していく。

Q 早朝児童クラブの設置を求める

A 今後保護者のニーズを把握し、必要に応じ検討していく

子育て支援・学習環境の整備は

中條教育
施設課長

現在、早朝預かりの

問 保育所・幼稚園は早朝預かりがあり、保護者にとって勤務先の選択肢が多く助かっている。小学校にはないが、設置する方法はあるのか。

要望は町へは届いてないが、まずは、保護者のニーズを把握し、他の自治体の例を参考に、検討したい。

問

小中学校のタブレットと教科書使用時に使いやすい

大きい机の使用の計画

は具体化されているか。

中條教育
施設課長

昨年度、天板拡張器具を試行的に設置した

結果、使いやすいとの意見が多かった一方で、教室が狭くなるとの意見もあった。今後、ICT教育推進委員会などでも検討を進めたい。

問

令和5年度3月の屋外遊具点検の結果から使用停止等になった物の修繕予定はどうか、また、それらの集約を進めるべきではないか。

中條教育
施設課長

規準に合わない遊具のうち、簡易なもの

のうちの、簡易なもの

早急に対処し、それ以外は修繕方法や撤去を検討する。屋外遊具の在り方について、庁内で横断的な議論をスタートさせているが、集約化についても検討したい。

問

少子化と過疎問題を考えても、小中一貫校や、くにみ学園構想のように、施設の集約化等は必要と思う、凍結後の町民の意見の収集は進んでいるか。

中條教育
施設課長

保護者などを

を中心に意見を交換やアンケートを行い、様々な意見をいただきたい。

各施設は老朽化も進んでおり、健全度調査の結果も

踏まえ検討したい。

選挙時投票の配慮を求める

問

さまざまな状況や障害があっても、政治参加できる

選挙はともども大事である。不在者投票や期日前投票及び代理投票制度の案内等の積極的な周知が、町民にわかりやすくされていくか。

澁谷総務課長

不在者投票は事前登録など多少手続きが必

町のホームページの更新はいつか

問

ホームページを見てみると、古い情報が混在している

たりするが、更新のタイミングはどのようにしているか。

澁谷総務課長

各課での情報発信のタイミングに差がある。

当初は、とても良いと思っていたが、先進事例を参考にしながら、見せ方を考え情報発信していきたい。



佐藤多真恵議員



放課後児童クラブの様子

令和6年第1回議会報告懇談会レポート

(令和6年4月13日・14日実施)

1 高規格救急自動車研究開発事業 および特別委員会について

- 質問** 自治体で4億3000万円ほどの費用がかかるものに関して、事業計画書がなく事業が進むことはあり得るのか。
- 回答** 通常はない。職員が作成しているものだと理解していたというのが町長の一貫した説明。
- 質問** 高規格救急車は、12台あると聞いているが、何台譲与されたのか。
- 回答** 12台納車され、12台すべて無償で譲与している。
- 質問** 太田前町長は証人喚問したのか、また予定があるのか。
- 回答** 証人喚問を実施していないし、する予定もない。
- 質問** やらなくても構わないのか。
- 回答** いのち。何も証拠がなく、人権問題に発展する可能性もあるため実施しない。
- 質問** 参考人として話を聞くこともできないのか。
- 回答** 聞く内容がないため、予定もない。
- 質問** ゼリーに限らず、ワゴンテーブルとの接点がどのように始まったかは前町長しかわからないと思うが。
- 回答** 法的には難しい。
- 質問** 委員会が不審な金の流れの片りんや尻尾をつかんだところまではいついていないか。
- 回答** 贈収賄はない。
- 質問** 金の動きがあったところまでは、まだ見つかっていないということか。

回答 捜査機関ではないので、通帳を見せてもらうことはできない。贈収賄やお金の流れ等の捜査権は我々にはない。

質問 町長の証人喚問質問時に、返答できず持ち帰り検討回答することだったが、その後回答があったのか。

回答 現時点での回答はない。

質問 百条委員会、他の救急車メーカーや第三者に意見を聞くことは有効ではないのか。

回答 令和5年9月に東京の製造メーカーと意見交換をした。今後については、次回の委員会で議論し検討する。

2 公立藤田総合病院関連

- 質問** 今後、藤田病院の医師が数人定年を迎える。曜日によっては医大の先生が担当する日があるが、現在の状況は。
- 回答** 定年になる医師は11名。研修マッチングで7名ほど採用した。
- 質問** 病院西側のコンビニ裏の土地が整備されているか。
- 回答** 平成28年厚生労働省

が病院の駐車場か。

回答 コンビニ裏は、桑折町の土地で無償譲渡され、令和6年3月31日に職員用駐車場を180台分整備した。

質問 病院敷地内のアイン薬局について、違法性はなかったのか。

回答 平成28年厚生労働省

3 学校関連

- 質問** 学校給食の無償化の財源はどうなっているのか。
- 回答** 3000万円の財源は、今年度から過疎債で対応している。
- 質問** 新規事業のICT支援員配置事業は、何名でどのような方がやられるのか。

の指導により敷地内薬局を建設した。公募のプロポーザルにより選定されている。

質問 アイン薬局の話は、伊達郡および伊達市の薬剤師会には伝わっていたのか。

回答 桑折町・国見町・伊達市の病院議会での合意の下で事業を進めた。

回答 現時点での人数は未定。

質問 今年の小学校の入学児童数は何名か。
回答 38名。

4

施設関連

質問 上野台のプールは30年間放置されているが、今後どうするのか。

回答 町側へ対応については何度も質問をしている。引き続き問題意識をもって質していく。

質問 親月台公園の整備を何度も要望しているが、親月台公園改修基本計画の策定を理由に協議中との回答が繰り返されており、うちが明かないがどうか。

回答 3月議会でも質問をしたが、今後も早急に実行するよう町側へ働きかける。

5

議会関連

質問 議会で中継のアーカイブを残してほしい。自治体間で住民の知る権利の格差がある。いつでも過去の議会中継を閲覧できる体制を構築してほしい。また、議場にモニターテレビを設置してほしい。

回答 前向きに検討しており、もう少し時間をいただきたい。

質問 議員の定数削減問題の取り組み状況は。

回答 具体的な議論はしていない。議員間での議論、町民の方々の意見から結論を出す方向で考えている。

質問 議会モニター会議で、議会発言を行わない議員に対する批判に関して、議長から質問をする・しないは本人の判断ということですが、することもできるもので、しなければならぬと縛られるものではないかとのことだが。

回答 議会モニター会議で話した方が良い内容ではあるが、基本的に議員の使命は議案の議決。賛成か反対

※一部事務組合報告

※一部事務組合とは複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

補正予算・条例改正について審議

伊達地方消防組合議会

3月26日に開催された第1回定例会では、条例改正2件、条例制定1件、補正予算2件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。
5月17日に開催された第2回臨時会では、同意案件2件、補正予算1件について審議され、いずれも原案

か、法令に合致しているのか、町民のためになっているのかをチェックすること。

質問 議会モニター会議の質問時間が短いので長くしてほしい。
回答 調整する。

のとおり可決されました。
5月27日に開催された第3回臨時会では、契約締結1件について審議され、原案のとおり可決されました。

(報告者 菊地勝芳)

(報告者 渡辺勝弘)

伊達地方衛生処理組合議会

3月27日に第1回定例会が開催され、条例改正1件、補正予算3件、一般予算3件、人事同意案件1件が審議され、いずれも原案どおり可決されました。
5月21日に第2回臨時会が開催され、報告1件、人事同意案件1件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

公立藤田病院組合議会

3月27日、第1回定例会が開催され、条例制定3件、条例改正2件、補正予算1件、事業会計予算1件について審議され、いずれも原案どおり可決されました。
5月27日、第2回臨時会が開催され、選挙2件、人事同意案件1件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

(報告者 蒲倉 孝)

3月定例会以降の議会の動き

3月4日	3月定例会(～19日)	全議員
	総務文教常任委員会	総務文教常任委員
	産業建設常任委員会	産業建設常任委員
3月5日	広報常任委員会	広報常任委員
3月6日	議案調査会(～8日、11～15日)	全議員
	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会	議長、全委員
3月7日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会	議長、全委員
3月14日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会	議長、全委員
3月21日	議会モニター会議	全議員
	広報常任委員会	広報常任委員
3月22日	例月出納検査	監査委員
3月26日	伊達地方消防組合議会定例会(伊達市)	組合議員
	伊達郡町村議会議長会正副議長事務局長会議(福島市)	正副議長
	伊達地方消防組合消防本部西分署現地確認(桑折町)	組合議員
3月27日	伊達地方衛生処理組合議会定例会(伊達市)	組合議員
	公立藤田病院組合議会臨時会	組合議員
3月28日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会	全議員
	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査	議長
3月29日	職員退職辞令交付式	議長
	教職員離任式	議長
4月1日	各行政機関辞令交付式	議長
	新規採用職員辞令交付式	議長
	教職員着任式	議長
4月3日	広報常任委員会	広報常任委員
	全員協議会	全議員
4月5日	藤田保育所入所式	議長
4月8日	国見小学校入学式	正副議長、議会運営委員
	県北中学校入学式	全議員
4月9日	くにみ幼稚園入園式	全議員
	広報常任委員会	広報常任委員
4月13日	町体育協会総会	議長
	議会報告懇談会	全議員
4月14日	議会報告懇談会	全議員



国見小学校入学式の議長あいさつ



議会モニター会議の様子

4月17日	令和6年度監査委員特別セミナー(～18日、千葉県千葉市)	監査委員
	伊達郡町村議会議長会(福島市)	正副議長
	伊達郡振興懇談会(福島市)	正副議長
4月19日	議員懇談会	全議員
4月20日	郷土史研究会総会	副議長
4月23日	寿クラブ連合会総会	議長
4月24日	例月出納検査	監査委員
4月26日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)	議長
4月30日	健康推進員協議会総会	議長
5月3日	春の藤原まつり(岩手県平泉町)	議長
5月8日	全員協議会	全議員
5月10日	文化団体連絡協議会総会	議長
5月11日	町駅伝部総会	議長
5月13日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会幹事会	議長、幹事
5月17日	伊達地方消防組合議会全員協議会	組合議員
	伊達地方消防組合議会臨時会	組合議員
	国見町商工会第65回通常総会	議長
5月20日	議員懇談会	全議員
	全員協議会	全議員
	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会	全議員
5月21日	伊達地方衛生処理組合議会臨時会(伊達市)	組合議員
	全国町村議会議長・副議長研修会(～22日、東京都千代田区)	正副議長
5月23日	産業建設常任委員会	産業建設常任委員
5月27日	例月出納検査	監査委員
	公立藤田病院組合議会臨時会	組合議員
5月28日	国見町義経まつり第1回実行委員会	議長
5月29日	伊達郡町村議会議長会(福島市)	正副議長
5月30日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査	議長
	国見町シルバー人材センター定時総会	議長
6月3日	県町村議会議長会定例総会(福島市)	議長
6月6日	議会運営委員会	議会運営委員
	全員協議会	全議員
	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会幹事会	議長、幹事

総務文教常任委員会

3月定例会以降の委員会活動を報告いたします。

■令和6年6月13日（委員会室）

○請願・陳情の審議について

①地方財政の充実強化を求める国に対する意見書がらみの請願について質疑を行い、採択すべきものと決定しました。

②学校給食費無償化を実施

することを求める国と県に対する意見書と「被災児童

総務文教・産業建設合同常任委員会

■令和6年5月23日

○住民防災課所管事務調査（委員会室）

町が条例化に向けて進めている「国見町自然環境等

生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める国に対する意見書がらみの陳情について質疑を行い、採択すべきものと決定しました。

と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例（案）」について、町執行部から説明を求め、質疑を行いました。

議会広報クリニックを受けて

広報常任委員会は7月2日、福島市のとうほう・みんなの文化センターで開催された、福島県町村議会広報研修会に出席しました。

今回の議会だよりは、研修会で受けた講師のアドバイスおよびご指摘を、一部取り入れて作成しております。



議会広報サポーター芳野氏による講演



講演・クリニックを受ける委員

特別委員会報告

高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会を次のとおり開催しました。

（前回報告以降）
「第16回持ち回り委員会」（5月8日）

高規格救急自動車研究開発事業に係る納車12台の詳細調査について等を協議しました。

「第10回幹事会」（5月17日）
会議録ダイジェスト版の確認などを協議しました。

「第17回委員会」（5月20日）
会議録ダイジェスト版の確認などを協議しました。

「第11回幹事会」（6月6日）
証人喚問での調査確約事項の回答等について協議しました。

「第12回幹事会」（6月13日）
調査報告書原案について協議しました。

「第13回幹事会」（6月17日）
調査報告書原案等について協議しました。

「第18回委員会」（6月21日）

調査報告書案等について協議しました。

「第19回委員会」（6月24日）
調査報告書案等について協議しました。

「第20回委員会」（6月27日）
調査報告書案等について協議しました。



議長から町へ報告書を手交しました（7月10日）

家庭菜園を通じて感じること

42年間勤めた会社を退職し、今は家庭菜園で野菜作りを精を出す毎日です。きっかけは簡単でした。自宅周りに畑があり、何も作らなくても草刈りは絶対にする必要があります。遊ばせておくなら、自宅で食べる分くらい野菜を作ろうと思い、始めました。

若い頃はきゅうりとなす等、少ない野菜でしたが、今はミニトマトやエンドウ類、ピーマン、じゃがいも、里芋、ヤーコン等も作るようになりました。ただ、収穫時期が毎年早くなってきたと感じています。以前のきゅうりは7月になりましたが、最近は6月です。ここ数年、暑い日が長く続き、

水やりをこまめにしないと良い物ができなくなりまして。昨年、里芋やヤーコンが育たず、途中で茎の立ち枯れを繰り返して、結局収穫ができませんでした。

今年も6月から30度以上が続き、このままだと野菜や米等、農作物への影響が心配です。去年の野菜の立ち枯れも今年のような異常高温も、その大きな原因が地球温暖化なのではないでしょうか。

もう一つ感じる点があります。それは、野菜の収穫時期同様に、季節の移り変わりが少なくなっているように思えます。美しいふるさとの四季が消えてしまうのでは…そんな不安や寂しさも感じてしまいます。自然相手の野菜作り。私もいろいろと勉強し、

考えながら上手に作るよう頑張るしかありません。そんな日常の中からも、自分や家庭でもできる、小さな地球温暖化対策を心掛けていきたいと思っています。



よしだ きよし
吉田 清さん
(山崎館町内会)

大型FRP製品を手造りで

株式会社カンノ工芸の、菅野ご夫妻は以前、福島市在住、工場は伊達市で2003年に開業。2010年頃、仕事を拡張、3人のお子さんの教育環境にも悩んでいました。

も、不足している点も感じていましたが、最終的に国見町を選んでくれたとのこと。会社の繁栄と共に、町の発展を願い、様々な活動に参加して下さるご家族です。

そんな時、知人の紹介で、国見工業団地に、条件の合う工場があるとの話をきっかけに、促進住宅、季節保育所、学校や学童の条件など、料金が市内と比べ安価だったなど、さまざまな好条件が重なり、移住を決定したと話しています。

長男の亮太さんは、父と先輩職人の背中を追って自衛隊を退職し、今は、重要な職人。長女の菜津美さんは、忙しい社長の片腕となり、事務、経理をこなし、会社の華です。次女のひよりさんは、天真爛漫な高校生で、これからが楽しみです。

その時の促進住宅は、「アブラカサスの祭」で撮影した部屋だったそうです。

大型FRPルーファンは、大きな工場の屋根に設置されている換気扇で、驚くほど大きく、つるつると光沢があり綺麗です。

国見町には、すぐ馴染み、子どもたちの成長と共に、事業も成長し続けました。

工場では、ガラス繊維を型に張り付け、ひとつひとつ手造りで丹精を込めて製作されていました。

町外から来たからこそ、国見町の良いところ

編集後記

水無月というところ、田植えの季節となり梅雨に入っていたが、今は温暖化の影響で雨は降らず田植えも5月になり、冬には山に雪が積もらないため、今は山から流れてくる湧水が減少しています。普段、家庭菜園を楽しんでいる私ですが、湧き水が使えず水道水を使うこの頃です。

またこの数年で、土石流関連で2度ほど避難しました。温暖化の影響もあって線状降水帯が東北にも発生しています。その為に大雨の恐れがありますが、避難などすることのないよう祈っております。

有事の際の対応について、議会として町民のみなさまの声を届けるとともに、安全安心な町を目指し頑張っております。

(菊地勝芳)

発行責任者

議長

広報常任委員会

委員長

副委員長

委員

同

同

同

佐藤 定男

蒲倉 孝

佐藤多真恵

佐藤 定男

松浦 常雄

佐藤 孝

菊地 勝芳